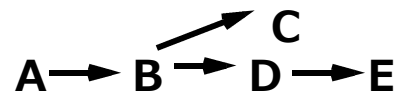


プレゼンでの注意は？

今日の KSI・II でプレゼンについての注意事項の説明があります。同じ内容も含まれますが、学級通信でも協調しておきたいと思います。

【ストーリーになるように】

これは何回も強調していますね。スライドを研究に取り組んだ時系列に並べる必要はありません。論理的にわかりやすい順番にします。せっかく取り組んでも、その内容を発表すると横道にそれてしまう場合は、ちょっと悔しいですが、カットしましょう。どんなに C が面白くても、結論である E に直接関係ないのであればカットします。



【ストーリーには番号をつける！】

- ・ストーリーには番号をつけるとわかりやすく、説明もしやすくなります。
- 「1. はじめに」「2. 実験方法」「3. 実験1」「4. 実験2」「5. 考察」「6. まとめ」等です。
- ・「3. 実験1」をさらに細かく分けるときは次のようにします。
- 「3-1 実験1の方法」「3-2 実験1の結果」「3-3 実験1の考察と新たな仮説」
- ・複数の種類の実験を行ったときは「実験1」「実験2」のように実験に番号をつけます。
- ・実験の説明のスライドには「3. 実験1 ○○○の実験」などと実験の内容がわかるようなタイトルもつけると良いでしょう。

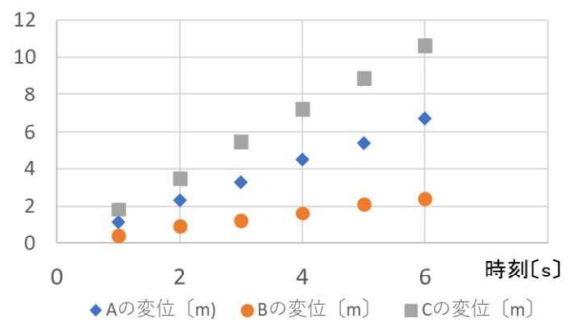
【図、写真、グラフ、表には通し番号をつける】

- ・図、写真、グラフ、表はそれぞれ通し番号を必ずつけてください。図は図だけで通し番号にします。
- ・写真やグラフを「図」として通し番号をつける場合もあります。どちらでもかまいません。
- ・図・写真・グラフは、それぞれ図・写真・表の下にキャプションをつけます。
- ・表は、表の上にキャプションをつけます。

表1 車A、B、Cの時刻と変位の関係

時刻 [s]	Aの変位 [m]	Bの変位 [m]	Cの変位 [m]
1	1.1	0.4	1.8
2	2.3	0.9	3.5
3	3.3	1.2	5.5
4	4.5	1.6	7.2
5	5.4	2.1	8.9
6	6.7	2.4	10.6

変位[m]



グラフ4 車A、B、Cの時刻と変位の関係

- ・キャプションには、必ずタイトルをつけてください。
- ・物理量（例の場合は「変位」「時刻」と単位（例の場合は [m] と [s]）を忘れないように。
- ・凡例も忘れないように。また、白黒にしても区別できるような記号にするように。

【図や写真、グラフ、表の説明】

・「こんな感じです」は厳禁です。必ず「何を測定したか」「測定した物理量は何か」「強調したい特徴は何か」を伝えるように説明してください。

 例 表1は車A、B、Cの各時刻ごとの変位です。表1をグラフにしたものがグラフ4で、横軸が時刻、縦軸が変位です。このグラフでは時刻と共に変位も大きくなり、その傾きが変化しないので、等速運動している者と思われま。また、Cが一番速度が速く、A、Bの順で遅くなります。

 このとき「単位」は、強調したいとき以外は説明する必要はありませんが、スライドの中には単位を必ず入れます。

【質問を想定しよう】

・ストーリーは「質問を想定しながら」作ると良いでしょう。例えば先ほどのグラフだと「時刻が8秒より先でも同じ運動なの？」ときかれるかもしれません。その場合は、もう一度研究ノートを確認し、等速運動を続けていたかどうかを確認しておきましょう。